



西尾いきものふれあいの里だより

9月号

2024.9.1 発行

# さとやま

## 9月の里といきもの



今年の夏は、猛暑日が30日以上ある異常な気象となりました。9月に入っても高温状態が続くと予想されています。お彼岸の頃花をつけるために名がついた**ヒガンバナ**ですが、最近では見頃が遅れてきました。こんなに暑い日が続くと、今年はどうなるでしょう。しかし、生き物たちは気温だけで秋を感じるわけではなく、昼間の長さも大切な要素です。夏至以来少しずつ短くなっていく日照時間のおかげで、里の秋は少しずつ進んでいきます。



田んぼエリアの農機具小屋近くには、ツツラフジ科に分類される常緑のつる性木本、**ハスノハカズラ**が生えています。海岸に近い地域で見られることが多いようですが、里ではこの付近にだけ見られます。

三角形の葉が、盾のような形になるように、葉柄が中央から出ている様子が、ハスの葉に似ていることから名が付けました。珍しい葉の付き方なので、ぜひ観察してみてください。



雌花と若い実



色付いた実

雌雄異株で、写真は雌株の雌花です。以前はあまり見られませんでした。ここ2～3年夏から秋に、目立ちませんが、たくさん花がつくようになりました。南方系の植物なので、最近の高温のためではないでしょうか。秋には実が赤く熟します。

近縁の**アオツツラフジ**は、里のあちこちで見ることができます。こちらは落葉のつる性木本で、やはり雌雄異株です。つるを編んで、籠やつづら（葛籠）などに利用されていたのが名の由来です。

夏頃に花が咲き雌株にはその後緑色の葡萄のような実がついている様子が観察できます。秋には青く熟します。



雌花



色付いた実



アオツツラフジの種子



ハスノハカズラの種子

アオツツラフジの実には種子が1つ入っています。面白いことにこの形がアンモナイトの化石に似ています。ハスノハカズラにも種子が1つ入っていますが、少し形が違いますね。

ところで、ツツラフジ科の植物にはアルカロイドを含むものが多く、有毒なものや薬用とされるものがあります。特にアオツツラフジは、毒性が強いようで、口にすると呼吸困難になったり、心臓麻痺につながる恐れがあるそうなので、注意してください。

## 9月はこんな生きものも見られます

里のビオトープ上の池や、林縁の道、万灯山エリアの半日蔭では、キセルの雁首のような姿から名が付いた、**ガンクビソウ**や、黄色い星形の**ヒメキンミスヒキ**の花が見られます。

また、日当たりのよいところでは、お腹の薬になる**ゲンノショウコ**の花が咲きます。ビオトープ上の池付近では赤花、中央広場上の道では白花が見つかります。



ビオトープ上の池や、万灯山エリアでは、10月頃に現れる旅をする蝶、**アサギマダラ**の好物である、**ヒヨドリバナ**の白い花が咲いています。キク科に分類されるその花は、花卉のない筒状花が集まったものです。



ところで、里全体で最近見られる外来種**アカボシゴマダラ**、すっかり定着してしまっています。飛んでいるのを見かけると、アサギマダラと間違えることがあるので、注意してください。

小草池の道を挟んだ反対側の私有地の梅畑では、星形で、内側に白い毛が生えた、変わった様子の**ガガイモ**の花を見ることができます。晩秋には、変わった形の実も見られることでしょう。



万灯山エリア野鳥の森では、ここでしか見られない**ヤマジノホトトギス**があります。花期が短いためなかなか花に出逢えませんが、10月頃にセンター裏や万灯山エリアなどで咲く**ホトトギス**とは、少し違った色形をしています。



万灯山山頂では、**マルバハギ**のピンクの花が多数咲きます。秋の七草ハギは、この花をさすことが多いようです。また、山頂付近では、やはり秋の七草の**オミナエシ**が見つかることがあります。

まだまだ残暑が厳しいですが、こんな秋のいきものを探して、里を散策してみてください。

## 8月の行事紹介



「里の水辺の生きもの探そう」を8月4日（日）に開催しました。里山エリアの棚田の横を流れる小さな小川にどんな生き物がいるか、川に入りました。川岸の下流側にタモ網を入れ、上流側の草を足を使ってガサガサと動かし、タモ網に魚を追い込みました。小さな小川には、カワムツ、カワヨシノボリ、ヌマエビなど多くの生きものを捕まえることができました。センターに戻り、捕まえた魚などを観察し特性などを学びました。

## 9月の行事予定

8日（日）	楽しい絵手紙	20名	AM 9:30~11:30	市川百合子
-------	--------	-----	---------------	-------

内容：里山で風雨に耐え一生懸命に生きる植物を、皆さんと楽しみながら書きましょう。  
 ヘタでもいい、笑顔のある講座を目指して行います。

22日（日）	秋の里山で野鳥を観察しよう	20名	AM 9:30~11:30	高田俊洋
--------	---------------	-----	---------------	------

内容：秋の里山で、北から南へ渡ってゆく旅の途中の小鳥を観察します。  
 夏鳥の小鳥が帰ってゆく姿や、タカの仲間も観察できるかもしれません。

## 10月の行事予定

6日（日）	棚田でお米を作ろうⅡ（稲刈）	60名	AM 9:30~11:30	当園職員
20日（日）	棚田でお米を作ろうⅢ（脱穀）	60名	AM 9:30~11:30	当園職員

内容：実った稲をカマで刈取り、「はざ」に掛けて乾燥させ、稲穂を脱穀機にかけ粃にします。

※「棚田でお米を作ろう」を2回受講された方には、お米をプレゼントします！また、雨天等で中止した場合は、1週間後の予備日に開催します。【予備日：6日⇒13日・20日⇒27日】

26日（土）	秋の里山でキノコを見つけよう	20名	AM 9:30~11:30	石川まゆみ
--------	----------------	-----	---------------	-------

内容：秋の里山を散策し、季節の変化を、キノコを通じて体験してみませんか？  
 様々なキノコを観察し見分け方や特徴を学びましょう。

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下**の場合は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候**により、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

## 西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課